

令和 8 年度第 2 回社会教育委員会議 会議録

日 時：令和 8 年 7 月 29 日（水）午後 2 時 00 分

場 所：かしはら万葉ホール 研修室 2

出席委員：吉岡議長、山中副議長、田宮委員、澤井委員、吉村委員、末次委員、上田委員、森田委員、辻川委員、浦西委員、松下委員

事務局：教育長、教育委員会事務局長、教育委員会事務局副局長兼文化芸術振興課長、図書館長、中央公民館長、人権・地域教育課長、昆虫館長、文化財保存活用課長、今井町並保存整備事務所長、スポーツ推進課長、文化芸術振興課長補佐、文化芸術振興課係長、文化芸術振興課主査

傍 聴 者：なし

1. 開会挨拶

2. 新社会教育委員 紹介 資料 2

3. 議事

報第 1 号 令和 8 年度 主要事業実施報告について
(令和 8 年 4 月 1 日～6 月 30 日) 資料 4

4. その他

令和 8 年度社会教育委員 今後の事業予定について 資料 5
第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会
令和 8 年度近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）について

○小山補佐

定刻となりましたので、ただいまより、令和 8 年度第 2 回定例社会教育委員会議を始めさせていただきます。本日、進行役を務めさせていただきます文化芸術振興課の小山と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本日は、橿原市社会教育委員会議をご案内させていただきましたところ、委員各位にはご多忙の中、ご出席を賜り誠にありがとうございます。本日の会議は、会議録作成のため録音させていただきますので、あらかじめご了承ください。なお、録音データにつきましては、会議録作成後、速やかに消去いたします。続きまして、情報公開の原則により、会議の傍聴を認めることが通例となっておりますが、本日は傍聴の希望はございません。続きまして、本日の出席委員は 11 名で、橿原市社会教育委員の会議運営要項第 5 条、委員の半数以上の出席の規定に基づき、会議が成立している旨をご報告させていただきます。続きまして、資料についてでございます。事前に送付させていただきました資料のご確認をお願いいたします。令和 8 年度第 2 回定例社会教育委員会議資料としまして、資料 1「橿原市社会教育委員の会議運営要項」、資料 2「橿原市社会教育委員名簿」資料 3「令和 8 年度橿原市社会教育委員会議出席職員名簿」、資料 4「令和 8 年度主要事業実績報告書（令和 8 年 4 月 1 日から 6 月 30 日まで）、資料 5「令和 8 年度社会教育委員今後の事業予定について」、「第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会・令和 8 年度近畿地区社会教育研究大会大阪大会」についてでございます。送付させていただきました資料は以上となっております。また、本日、新たに机上に配布させていただいております資料は「第 73 回奈良県公民館大会及び第 37 回奈良県社会教育研究大会合同大会の開催要項」、「第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会」のチラシ、「くらしに役立つ学び時間（橿原市家庭教育支援事業）」のチラシ、「第 68 回橿原市美術展覧会」のチラシ、「古謝美沙子さん、玉城千春さん、Okinawa moon 童神～未来～」のチラシ、「和太鼓集団 倭-YAMATO」のチラシ 歴史に憩う橿原市博物館の「橿原神宮前駅ちかくの考古学」のチラシ、橿原市立図書館の「お話し会（小澤俊夫さんを偲んで）」のチラシ、前回の会議で報告いたしました「令和 8 年度社会教育方針、事業概要計画」でございます。ご配布の資料は以上でございます。資料はお手元にありますでしょうか。皆様お揃いでしょうか。不足ある方はお申し出ていただきたいのですけれどもよろしいでしょうか。それでは、お手元の次第に従いまして、進めさせていただきます。はじめに、橿原市教育長吉田よりご挨拶申し上げます。教育長よりお願いいたします。

教育長挨拶

それでは、次第 2「新社会教育委員の紹介」をさせていただきます。資料 2 の名簿をご覧ください。大原香容委員です。大原委員は、5 月 16 日付で橿原市 PTA 連合会次年度準備委員会 委員長にご就任されております。6 月 26 日付で、前任の杉田健司委員に代わり委嘱させていただきました。本日は、所用のためご欠席となっております。それでは、続きまして

本日の会議についてご説明申し上げます。次第3議事、報第1号令和8年度主要事業実施報告について。次第4、その他となっております、終了は16時00分頃を予定しております。それでは、ただ今から、議事に入らせていただきますが、ここからは吉岡議長に進行をお願いしたいです。吉岡議長、よろしくお願いいたします。

○吉岡議長

吉岡です。最初に、今、教育長からありました藤原京、世界遺産の登録、おめでとうございます。私も市民ですから、おめでとうございますというのは、実は外の方から当日言われたのですが、実際に長い間、見させていただきまして、本当にご苦労があって、大変で、紆余曲折あり、皆様にはご存じないことともありますけど、本当に市の方が、ものすごく力いっぱいやってくださって、100パーセント思うようになったというわけではないけれども、とりあえずここまでこぎつけた皆様のご努力に対して、敬意を表したいと思います。それでは、まずは、議事進行に皆様方、ぜひご協力よろしくお願いいたします。今日は少しいろんなことのプランとか発表とかあるようですので、できるだけスムーズに進めたいと思いますので、よろしくお願いいたします。以後は着座にしてやらせていただきます。まず会議に伴います会議録署名委員を選任いたしたいと思いますが、私に一任していただけますでしょうか。

—「異議なし」の声あり—

ありがとうございます。それではご異議ないようですので、上田委員そして吉村委員を指名させていただきますと思いますが、ご異議ございませんか。

—「異議なし」の声あり—

ありがとうございます。ご異議ないようですので、上田委員、吉村委員、よろしくお願いいたします。続きまして参ります。報第1号、「令和8年度主要事業実施報告（令和8年4月1日～6月30日）」に入らせていただきます。まず、文化芸術振興課の事業について、西浦副局長から報告をお願いします。

○西浦副局長

はい。皆さま、こんにちは。暑い中、万葉ホールまでお越しをいただきまして、本当にありがとうございます。今日の議事進行やこの会議の内容について、今、教育長の方も、吉岡議長の方からも言っていただきましたが、できるだけいろんなことをざっくばらんに発言をお願いしたいと考えております。肩の力を抜いて、落ち着いた形で、どんどんご発言をお願いしたいと思っております。一つ、ここで、世界遺産登録の関係の話、先ほど出ましたが、

私どもの課の方で、飛鳥・橿原ユネスコ協会というのを持っておりまして、その発端で、協会をスタートさせたのが、社会教育課の課長であられた森田さんです。ここまでこじつけたということで、一つ拍手をお願いしたいと思います。本当におめでとうございます。それでは、順に私の方から、事業報告をさせていただきますが、着座にてさせていただきますのと、既に資料をお配りしていますので、簡潔に主要なものだけを取り上げて報告します。その代わり、その後で、ご質問の方、どんどん投げかけていただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。それでは、1 ページから 2 ページの報告をさせていただきます。私のほうからは、事業計画になかった行事、資料 2 ページ目、この一番上と一番下、奈良県と JNO、未来の演奏家育成事業、初めてのクラシック in かしはら万葉ホールと、一番下のマルティン・ガルシア・ガルシア&JNO in 称念寺、橿原市政 70 周年記念事業ということで、やらせていただいております。これを紹介させていただきますが、実は奈良県の実業である未来の演奏家育成事業、その中のまちかど演奏という事業の内容でございます。海外の一流オーケストラで活躍されている方の演奏を聴いてもらうということで、反田恭平さんというピアニストをご存知かと思いますが、その方のグループになります。仲間の方がこの事業に参画されて、わざわざこちらの方に来ていただくというような形になっています。イオンモールやミグランスで、何度か演奏会をさせていただきました。去年の 8 月 6 日にも、万葉ホール 5 階でやらせてもらっております。一番上の方は、イオンモールで 4 月 29 日に、佐々木賢二さんと東亮太さんという、ヴィオラとバイオリンの方に来てもらっています。その名前のごとく、子どもに音楽を聴いてもらい、その演奏姿を目の当たりにしてもらって、将来音楽しようかというような子を育むような事業でございます。親子さんとか赤ちゃん、妊婦さんなど 139 人に聴いてもらって、なかなか素晴らしいものでした。実際、子どもが演奏家の周りを走って、ちょっと危ないなということもありましたが、内容的には素晴らしいものでした。一番下の称念寺さんには上田委員さんもおいでいただきました。本堂で、カワイ製のグランドピアノを高円高校からトラックで運んで、大変でした。ピアノを真ん中において、それを世界 3 位の賞を取られた、スペイン人のマルティン・ガルシア・ガルシアさんが生で弾いてくれ、その隣で吉村美智子さんという世界的に有名なバイオリニストの生演奏を披露させてもらったというところです。あいにく天気は大雨でしたけれども、逆に雨の天気が一体感を生んで非常に良く、いい場を提供できたと思っております。ガルシアさんはスペイン人の 29 歳で、当然今井に初めて来られて、その今井の雰囲気合うようにその日に選曲をされて、普段全然弾かないような曲を弾いてくれました。関東、東海付近からガルシアさんのファンが来ていまして、今日すごい曲を弾いてくれたよということを言っておられました。ちなみに弦が切れるほどの積極的な様子で、調律師も大変な思いをされていました。またこれからもこの事業がございまして、橿原市内で場所を模索しております。県に提案もできますので、もし委員さんの中で、ここでやったら面白いというような場所がございましたら、またご提案いただけたらと思います。私からは以上でございます。ありがとうございます。

○吉岡議長

ありがとうございました。続きまして、図書館、高井館長、よろしくお願いします。

○高井館長

図書館の高井です。4 ページから 6 ページの令和 8 年 4 月から 6 月までの主要事業について報告させていただきます。上段に記載の各種おはなし会につきましては、橿原市図書館ボランティアの会並びに橿原おはなし会の協力をいただき開催しております。参加人数については、前年度に比べて減少傾向にはありますが、概ね好評をいただいております。4 段目です。「ひろばでおはなし会」につきましても、こどもと本のひろばでの開催が定着し、参加者が増えてきているように感じております。9 段目の「こんな本読んでんねん」は、橿原市内の 4 年生から 6 年生の児童から 536 作品の応募をいただき、1 月 6 日から 4 月 15 日まで 50 作品を 1 階入り口に展示をしました。10 段目の「高校受験用参考書配布」につきましては、令和 5 年度から開始しており、今年度で 4 回目となり、使い終えた高校受験用の参考書を寄贈いただき、受験生に再活用していただいております。次ページ以降につきましては、図書館 1 階、2 階の展示室や 2 階展示ケース、1 階入り口付近の展示スペースなどでの展示内容を記載しております。季節など四季折々に沿ったテーマを職員が工夫し、また、他課とも協力をしながら様々な展示を行っております。7 ページの利用状況をご覧ください。例年度と比べまして、貸出者数につきましては若干増加となっておりますが、貸出冊数につきましては減少傾向にあります。引き続き、展示や館内の配置や工夫、イベントや講座を開催するにあたり、SNS などを利用して情報発信を行い、引き続き、図書館をアピールし、来館者を増やすための努力を継続していきたいと考えております。図書館からは以上です。

○吉岡議長

ありがとうございました。それでは、中央公民館の中野館長よろしくお願いいたします。

○中野館長

中央公民館の中野でございます。資料 8 ページをご覧ください。令和 8 年度 4 月から 6 月までの中央公民館の主要事業でございます。1 段目の「日本語講座」は通年事業です。期間中は 5 回実施し、27 名の参加がありました。前期学習講座として、2 段目の「スマホ講座」から 6 段目の「はじめての手話学習講座」の 5 講座を開催し、4 月から 6 月までで延べ人数 187 名の参加がありました。続きまして、資料 9 ページをご覧ください。令和 8 年度 4 月から 6 月までの中央公民館利用状況でございます。利用者数は、16,905 人となります。前年比の 91.9%で 1,493 人減となっております。利用団体数は、1,837 団体で前年比の 95.8%で 80 件の減となっております。利用率につきましては、32.8%で前年比の 95.9%となっております。今後につきましては、市民ニーズをしっかりと把握し、魅力ある講座を企画運営し

て、講座の充実に努めてまいります。また、生涯学習のきっかけづくりの機会を提供するため、中央公民館でのサークル活動の会員の募集を周知して、利用者の増加に結びつけたいと考えております。以上でございます。

○吉岡議長

ありがとうございました。それでは、人権・地域教育課宮田課長、よろしくお願いいたします。

○宮田課長

人権・地域教育課長の宮田でございます。10 ページをご覧ください。こちらは人権・地域連携係の主要事業報告でございます。1 段目・2 段目と 5 段目は、小中学校に配置している児童生徒支援教員に対する業務知識・資質の向上を図るための研修を実施しております。3 段目、学校運営協議会いわゆるコミュニティ・スクールの委員または委員になられるご予定の方を対象に、「学校運営協議会委員としての心構え」と題して、立命館大学の武井哲郎さんを講師に迎え、第 1 回学校運営協議会委員研修会を実施いたしました。6 段目・7 段目については、人権教育研究指定を受けた畝傍東幼稚園・耳成幼稚園で、園内研修を実施しました。

次のページをご覧ください。こちらは青少年センターの事業となります。1 段目の下校時巡回指導から 5 段目の春休みの見守り活動につきましては、定例実施となっております、この巡回、巡視、見守り等の活動において、特別な事案等は発生しておりません。下から 2 つ目の 9 段目の青少年指導委員協議会の総会を開催いたしました。令和 8 年度の青少年指導委員への委嘱を行いました。その総会後の第 1 回研修会で、榎原警察署生活安全課の方より「榎原市内・奈良県内における少年非行概況について」のご説明をしていただきました。引き続き、榎原警察署交通課の方よりこの 4 月から自転車の青切符などが始まりましたので、その関係の知識を深めていただくために、「自転車等の安全運転及び法改正について」と題して講演をしていただきました。6 段目に戻りますが、先ほど説明いたしました委嘱した青少年指導委員による祭・イベント巡視を行いました。この巡視活動において特別な事案等は発生しておりません。なお、一番下の段、悩み相談につきましては、期間中の相談は 16 件ございました。内訳として、不登校 5 件、教師に対する相談が 3 件、いじめに対する相談が 2 件、生活態度が 2 件、健康問題が 1 件、その他の学校問題が 3 件でした。必要に応じて学校及び関係課・関係機関と情報共有・連携いたしました。人権・地域教育課からは以上でございます。

○吉岡議長

ありがとうございました。それではここまでで何かご質問ございませんでしょうか。どんなことでも結構でございますから。ありませんか。そしたら、次に行かせていただきます。続

きまして、昆虫館、久米館長、よろしくお願いいたします。

○久米館長

昆虫館の久米です。資料 12 ページをご覧ください。4 月から 6 月までの昆虫館の主要事業、実績について報告させていただきます。まず 1 つ目の企画展「ハチと、ハチドリと、ときどき化石」ということで長年在籍しておりました職員の功績と、またその職員が作りました 3 つ目の「はちのかみしばい」と 4 つ目の「むしかるた」などのイベントを行いまして、4 月 19 日までの開催期間中に 13,309 名の方にご観覧いただきました。2 つ目の日本鱗翅学会によって、47 都道府県を代表するチョウが選定され、その蝶を一般の方への普及啓発を目的とした企画展「知ってた？！47 都道府県のチョウ」を開催し、6 月 30 日までに 22,494 名の方にご来館いただきました。また企画展関連イベントとしまして、9 個目の「蝶たろうが語る！47 都道府県のチョウ」を開催しました。これは裏話とかの話を聞けるイベントなどを行いました。次に 6 個目の虫の好きの中高生を対象にしました「飛鳥昆虫学ハイスクール」を 5 回、また、7 つ目の「春の虫さがし遠足」やまた、10 個目の「小さな川の観察会」、13 ページ目の 1 つ目で「昆虫館ホタル観察会」など昆虫館周辺などで自然観察会を行いました。次に教育普及活動としまして、戻りますけれど、12 ページの 5 つ目にこれは毎年行っております小学校 3 年生に昆虫について学習してもらうための「モンシロチョウ飼育教材の配布」などを行いました。そして最後になりますけれど、13 ページの 3 つ目、昆虫館の一大イベントとしまして「むし祭り 2026」を開催し、たくさんの自然系の博物館、団体の方に出展いただいて、いろいろな体験をしていただきました。そして、14 ページにつきましては、昆虫館の 4 月から 6 月までの入館者数を記載しております。前年度よりも 2.3% 増となっておりますけれど、6 月少し減少しているのが気になっております。理由は調べていきたいと思います。以上が昆虫館の報告となります。

○吉岡議長

ありがとうございました。続きまして、文化財保存活用課、松井課長、歴史に憩う橿原市博物館も併せてお願いします。

○松井課長

文化財保存活用課の松井です。まず資料 15 ページをご覧ください。歴史に憩う橿原市博物館の主要事業報告です。1 行目は 3 月 28 日より 6 月 21 日まで開催しておりました、奈良県立橿原高等学校考古学研究部と歴史に憩う橿原市博物館との連携企画展となります。こちらの内容につきましては、奈良県立橿原高等学校の考古学研究部が 5 月、東京の青山学院大学におきまして、同じ内容で、日本考古学協会高校生ポスターセッションでも発表しております。期間内に 1,159 名の来館者がございました。2・3 行目は、期間内に実施いたしました、博物館外でのワークショップ出展状況です。近鉄百貨店橿原店で

開催いたしました「宮崎と檜原の物産展と観光展」及び檜原市昆虫館「むし祭り 2026」にブース出展をいたしております。次に資料 16 ページをご覧ください。歴史に憩う檜原市博物館の利用者数実績です。4～6 月、いずれの月も前年度比 140～141%となっておりまして、合計で 1,198 名の利用、来館者がありました。増加の要因については、本報告の主なデータというのは世界文化遺産勧告以前となっておりますけれども、世界文化遺産国内推薦決定後であったことは少なからず影響したのではと考えております。今年度は SNS による博物館の魅力発信を強化しておりまして、博物館のインスタの投稿を、博物館のイベントですとか、開館状況、日常の活動に関する内容を 1 週間に 1 回程度投稿しておりまして、6 月末で約 5,000 回の閲覧がございます。4 月は 8 名しかいなかったのですが、現在は 100 名を超えているということで、非常にその辺も増加していると。詳細を聞いておりますと、その閲覧している方におけるフォロワーが占める割合は 20%～30%というように結果が出ておりますので、少なからずそういうところも、来館者数の増に影響しているのではないかと考えております。次に、資料の 17 ページをご覧ください。令和 8 年度 6 月 30 日時点での全体の入館者数の実績です。大人の人数が全体の 69%を占めるものの、それ以外の学生、小人、幼児も全体の 30%以上を超えておりまして、来館者の多様化をうかがうことができます。文化財保存活用課、歴史に憩う檜原市博物館の報告は以上となります。

○吉岡議長

ありがとうございました。今井町並保存整備事務所、中川所長お願いいたします。

○中川所長

今井町並保存整備事務所中川です。資料の 18 ページをご覧ください。4 月から 6 月までの主要事業報告をさせていただきます。まず表の上段 1 段目と 2 段目です。社会科見学の受け入れということで、4 月 28 日（火）に鴨公小学校 3・4 年生の生徒 62 名と、5 月 15 日（金）には新沢小学校 3 年生の生徒 26 名が、今井町を訪問してくれました。鴨公小学校は、観光協会のボランティアガイドさんが地区内を案内され、私どもは「昔の暮らし」を体感してもらうため「井戸汲み体験」を担当させてもらいました。新沢小学校の生徒さんにつきましては、私どもで地区の概要説明や町並みの案内をさせていただき、最後に「井戸汲み体験」も実施させていただきました。次に 5 月 9 日（土）～17 日（日）までの 9 日間ですが、今井町町並み保存会・今井町自治会主催の「第 29 回今井町並み散歩」が今井町重要伝統的建造物群保存地区において開催されました。重要文化財の内部公開をはじめ、最終日 17 日（日）には今井町にゆかりの茶人に扮した「茶行列」や、町の中心の御堂筋では「六斎市」といったフリーマーケットなども行われ、県内外から沢山の方に来訪いただき、大いに盛り上がりました。次に、出前講座ということで 5 月 19 日（火）に、内膳町にある奈良県医師会看護専門学校 1 年生の学生 33 名の方に今井まちなみ交流センター「華薺」に集まいただきました。講座では「今井町の町並み保存について」の説明をさせていただき、生徒さんに今

井の町づくりについて、学んでいただきました。次に、臨地講義ということで 6 月 25 日（木）に、県内外の文化財担当者を対象に講義及びフィールドワークを実施させていただきました。18 名の参加がございました。今、ご報告させていただきました社会科見学や出前講座につきましては当整備事務所の第 2 期橿原市教育大綱アクションプランにも掲げさせていただいております。その評価指標に「今井町を再来訪したいと回答した割合」といった内容もありますので、今回は新沢小学校の生徒さんと奈良県医師会看護専門学校の学生さんに簡単なアンケート調査を行っております。そのなかで、今井町での話や町並みの見学を通して、「今井町を訪れたいと思いましたか。」といった質問では、大多数の方が「はい」と回答してくれました。これからもいろいろ工夫を凝らしながら、リピーターを増やしていきたいと思っておりますので、委員の皆さん方にはいろんなお知恵、またご意見等をいただけたら大変ありがたいと思っております。最後の行になりますが、6 月 28 日（日）ですが、NPO 法人今井まちなみ再生ネットワークによる第 60 回の空き家紹介「まちあるき」が開催されました。今井町は保存をしているというものの、やはり人に住んでいただかないと、なかなか保存というのができないと考えております。今回は 3 組、5 名の方が参加されました。委員の皆さん方の中で、ぜひ今井町で住んでいただきたいというような方がおられましたら、ぜひ整備事務所の方にお声掛けいただければと思います。よろしく願いしたいと思います。資料 19 ページをご覧ください。今井町の見学や貸館施設が、地区内に 6 施設ございます。この施設の入館者数を統計で書いておりますけれども、大半の施設で、実績としては、前年度を上回る結果となりました。また今回、藤原京が世界遺産になり、同じ魅力創造部の昆虫館や文化財保存活用課の施設を周遊されることも想定されますので、受入体制の構築でも、協力できるところは協力しながら、町並みのことも含めて取り組んでいけたらと思っております。以上となります。

○吉岡議長

ありがとうございました。最後になりますが、スポーツ推進課の森尾課長、よろしくお願いいたします。

○森尾課長

スポーツ推進課長の森尾でございます。よろしくお願いいたします。20 ページにありますスポーツ推進課の主要事業報告をさせていただきます。まず、1 段目にあります西岡選手、浦岡選手の市長表敬でございます。これは小学生の空手全国チャンピオンになられましたので、市長表敬を行いました。2 段目が、プロバスケットボールチームのバンビシャス奈良のシーズン終了に伴う市長表敬でございます。3 段目でございます。第 1 回奈良ウルトラマラソンでございます。これは、藤原京をスタートとしまして、橿原市、明日香村、高取町、大淀町、下市町、五條市、黒滝村、吉野町を回って、100 キロを走っていただくマラソンでございました。国内外から、2,979 名の方が申し込みされまして、最終当日スタートされた方は、

2,784 名でございました。完走された方が、2,232 名と全体の 80.17%という、通常のウルトラマラソンであれば、70%程度というところですが、今回、第 1 回目の記念大会というところもございまして、皆さん熱心に事前練習もされまして、2,232 名という多くの方が、無事完走されたというところでございます。今回は、先ほど申し上げました、藤原京スタートとしまして、世界遺産であります吉野町の金峯山寺を回るコースの 100 キロのマラソンでございました。今後、先ほども、教育長からもありました、藤原京スタートにつきましては、世界遺産登録されたということで、来年以降、もし開催されることとなれば、藤原京の世界遺産をスタートして、また金峯山寺、世界遺産を回ってくるような、100 キロのコースを想定し、来年に向けても、期待される大会に向けて、進めていきたいというところがございます。4 段目にございますガンバ大阪、岸本選手の市長表敬でございます。これは、本市出身のガンバ大阪の岸本選手が、アジアのフットボール連盟で、開催しておりましたクラブチームの国際大会で、ガンバ大阪が優勝しましたので、この表彰をさせていただきました。これに伴いまして、当日は、少年サッカー時代に所属しておりました真菅 FC の子どもたちも招き、盛大な表彰式となりました。子どもたちに夢を与えていただくようないろんな経験をさせていただいたのではないかとこのところでございます。最後に、熱中症プロジェクト 2026 でございます。イオンモール橿原におきまして、住友生命さん、大塚製薬さんにご協力いただきながら、熱中症対策の取り組みを広く市民に啓発していくためのイベントを開催いたしました。今回 500 名ご参加いただき、大塚製薬に関連するスポーツナースの講師を招き、熱中症対策の現場での救急対応を広く市民の方に学んでいただきました。また、公立中学校の部活動が週末地域移行しておりますので、指導員の熱中症対策研修も兼ねて開催いたしました。スポーツ推進課から、以上となります。

○吉岡議長

ありがとうございます。以上で事業報告を終了しますが、今までの件でご質問はございませんでしょうか。

○澤井委員

5 月 17 日の今井町並散歩を久々に参加させていただきました。暑い中、市内や大阪からも来られていました。今井町内のお店の方なども見させていただいている中で、子どもたちの姿があまり見受けることができなく、少し寂しく思いました。今西家、旧米谷家などにはたくさんの方が並んで入るような状況でしたので、どれだけの人が来てくださっているか気になったのでお話しさせていただきましたけれども、やっぱり人が少ないなと感じつつ、世界遺産登録後は今井町の方にも、きっと人が来てくれるかなと思っています。参加して良かったです。

○吉岡議長

ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

○末次委員

内容とかではないのですが、昆虫館のコース名のキャッチコピーの「ハチと、ハチドリと、ときどき化石」がすごく素敵で、行きたくなるようなこのネーミングで、「知ってた?! 47都道府県のチョウ」もウキウキするような感じがしまして、今回のネーミングすごいなと思いました。それだけです。

○久米館長

ありがとうございます。それぞれの学芸員が知恵を振り絞って、考えていただきました。

○吉岡議長

他にございませんでしょうか。

○山中副議長

昆虫館が開催された「むし祭り 2026」で歴史に憩う博物館が出展されたブースはどのようなものを出されたのでしょうか。また、「宮崎と檣原の物産展と観光展」のときもどのようなブースで参加されたのでしょうか。

○松井課長

虫と関係あるのか言われると困るのですが、博物館としては人間が歴史を作っていくわけで、歴史を作る材料というのは自然のものを使用するところもあり、サヌカイトという石器を作る石が非常に美しい音がするもので、そのサヌカイトを使用して、むし祭りの少し前に新沢地区の地域子ども教室の方とワークショップで音楽会のようなことを実施したこともあって、今回の「むし祭り 2026」の時も、サヌカイトで音を鳴らしたり、ドレミファソラシドを奏でていただいたりとか、あとは土器を実際に触れていただいたりということをしました。「宮崎と檣原の物産展と観光展」時は、檣原も宮崎も非常に歴史が深いところでもありますので、土器や埴輪に触っていただき、檣原の歴史に興味を持っていただくことが大切ではないかと思ひまして、ハンズオンコーナー設置しました。以上です。

○山中副議長

ありがとうございます。このようにいくつかの施設が連携して、イベントを盛り上げていくというのは非常に良いことだと思っております。どのように集客していくのか、どのようにファンを捕まえていくのか、あるいは関係人口を捕まえていくのかということが重要だと思いますので、他の施設も図書館であったり、公民館であったり、考えて連携して、逆に図書館、公民館に引っ張ってくるような企画が出れば面白いと思いました。

○吉岡議長

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

○森田委員

昆虫館の「日本の国蝶オオムラサキを近くでじっくり観察してみよう！」という項目で、先日テレビで明日香村にオオムラサキが飼育されている番組を見たのですが、それと連携しているつながりとかあったりするのでしょうか。また、昆虫館でオオムラサキを見れますでしょうか。

○久米館長

オオムラサキについてですが、NHK で出演しておりました方は今年度から会計年度職員として来ていただいております。オオムラサキについての情報とか虫についても詳しいのでそういうお話もできますし、明日香の方でも観察会をやっていると思います。協力いただいて、オオムラサキは昆虫館でも飛ばすようにやっています。

○吉岡議長

ありがとうございました。他にございませんでしょうか。

○辻川委員

私家庭教育の方で入らせていただいております。人権・地域教育課でされている 11 ページの一番下の悩み相談のことで、受付している方はどのような人なのか、また、相談を受けた後、どこにつながっているのか教えていただければと思います。私 NPO で子育て支援や児童相談所の方で児童虐待の対応とかで動いていまして、メインの仕事は親子関係再構築支援という地域とつないでいく仕事ですけれども、橿原市ではこの件数と全然リンクしないぐらい多くのお子さんを日常多く対応させていただいていたり、地域で相談できるところがたくさんあれば、ケースが重たくなって子どもを保護して、保護している期間は学校に通えなかったりするので、逆に子どもたちは不自由になることが多いなということを普段感じているところです。関係ないかもしれませんが、集客につながるのではないかとこのところで、子どもたちが地域にいたら、社会教育でやっていただいているイベントにも参加できると思うのですが、そこにつながらないお子さんやご家庭というのがたくさんあるので、そのようなところにも、目を向けていただけたら嬉しいなということで質問です。どのような形で相談を受けられているのか教えてください。

○宮田課長

人権・地域教育課の宮田です。まず、誰が相談を受けているのかということに関してなんで

すが、当課の方で青少年センターの中で青少年センター指導員というものを任用しております。退職教員になります。学校関係に関することについて、しっかりと相談を受けさせていただいているような状態と思います。次に、その相談を受けた後、どうしているのかということですが、先ほどお話しさせていただいたような例えば不登校ということでございましたら、当然ながら学校の方を教えていただけましたらその学校の方と連携を取りまして所管の関係課のところにその状況をお伝えして次の何か手立てがないか、もしくは今現状問題になっているものがないかというのを共有させていただいて、次の手を考えていただくようなことをさせていただいています。学校関係に関してはそういう対応はさせていただいています。それ以外の生活態度とか健康問題に関してもあくまでも青少年センター指導員の今までの学校での培ってきた知識で対応をさせていただいてということになりますので、今年度はまだないのですが、例えばひきこもり相談というようなことがありますたら、市の中で担当課はございませんので、県のひきこもり相談窓口もしくはNPO 法人さんの方におつなぎさせていただいています。

○吉田教育長

補足ですが、万葉ホール4階に学校教育課、3階に人権・地域教育課があり、相談業務を一緒にしました。その中心が3階で、退職校長、退職教員がいます。学校教育課と連携が必要であれば、その者がしっかりつないで、全員で相談します。今年から相談業務を一括して、幅広く共有・対応しようと、あとは課長が申しましたように必要な場合は他の機関につないでいくと、そういうことです。

○吉岡議長

他にございませんでしょうか。質問がなければ令和8年度の主要事業実施報告につきましては終了いたします。この場では、できるだけその報告内容についてのご質問をお願いしたいと思います。それでは続きまして、ここで委員の皆様方お一人ずつ何かご意見があるのではないかと思いますし、皆様や新しい方々の声を聞きたいと思いますので、一人ずつ一言でかまいませんので、ご発言いただきたいと思います。上田委員からお願いします。

○上田委員

今日は世界遺産登録ということもあったので、何かそれについて感じていることをお話できたらと思っています。世界遺産については、いろいろ報道を見ていると、特にやっぱり世界遺産になったことで観光であるとか集客ができて経済的な効果があったらいいなということよく取り上げられています。今井町もそうですけども、観光という視点から言うとしてもそのようなことが大事な部分になってくるかなと思っているのですが、この社会教育というテーマという視点で見ると、非常に大きなきっかけになるのではないかなとすごく思っています。これをきっかけに、今後この文化的歴史的な遺産というものを、どの

ように市民やこれから来られる多くの国内外の方に対し、どのように伝えていくかということがものすごく大事になっていくと思います。私の地元は今井ですが、今井町も観光でたくさんお客さん来てくれたらいいよねっていうのがすごく大事になってくる。やはりどのようにこの町を伝えていくかということが、これからもっともっと大事になってくるのではないかなというように思います。たまたま社会教育委員におりますので、そういう視点で地域でも活動をしていけたらなと思っています。以上です。

○吉岡議長

ありがとうございます。次は浦西委員お願いいたします。

○浦西委員

鴨公小学校で校長しております、まさしく世界遺産の前でさせていただいております。前任も今井町だったので、本当に古い町並みのところで校長させていただいておりました。校長させていただいて、思うことは2点ありまして、1点目は地域の方にすごいお世話になるということです。やっぱりそのことをいつも校長として忘れてはいけないなという思いがあります。子どもたちは地域のことを学ぶというだけではなくて、地域のことを思っている大人の姿を学ぶということがすごく大事だなと思い、学ばせていただいております。2点目ですけれども、先ほど上田委員おっしゃったこととすごく重なりますが、やっぱり本校でも前任校でも藤原京のこととか今井のことを学ばせていただくときに教員もまだ知らないような、こういうところもありますよという情報をいただくことがあります。市からいただいたり、それから地域の方からいただいたり、みんながそれをきっかけにたくさん学べたらいいなという思いを持っております。以上です。

○吉岡議長

ありがとうございます。それでは澤井委員お願いします。

○澤井委員

世界遺産ということで、私が採用された時、今の鴨公小学校、幼稚園が藤原京の駐車場を少し行った小高い丘になっているところ、その辺に鴨公小学校がありました。私はその保育所の方に採用になったわけですが、その頃には鴨公小学校幼稚園といった、その古い園舎に行ったり来たり、あるいはまた、子どもを連れてそこへボールを持って行ったり、保育所から歩いて、風揚げしたり、いろんなことしました。それが途中から現在の鴨公小学校に変わり、そして幼稚園が今の現在地が変わっていきました。あそこを通ったらこの場所で遊んだとか、小高い山で降りたり登ったり子供たちと歩んだその昔の姿が浮かびます。やはりそういうことがあった今この場所が世界遺産になったということで、本当に世界遺産のことを知らないことも多いですから、もっともっと学んで、また今井町の方も私が転勤していたと

きに、今井町のこともたくさん学ばしてもらい、今井と藤原京をもっともっと知りなさい、勉強しなさいって言われているような、気になります。もっともっといろんなことを学びたいと思っております。ありがとうございます。

○吉岡議長

ありがとうございます。末次委員よろしく申し上げます。

○末次委員

ガールスカウトの末次と申します。よろしく申し上げます。私は子どものことを45年間いろいろ学んできましたが、最近、子どもの居場所について話題にするのですが、そう考えたらお年寄りの居場所もないのではないかなという気がしています。菖蒲町に今住んでいます、知っているのは同じ班というか、20軒ぐらいの人はよく知っています。でも道路を挟むと、向こうの人は分かりません。ちょっと前に、一人住まいの方が亡くなって、3日ぐらい気がつかれなかったことがありました。誰ともお付き合いがなくて、さきほどの教育長のお話で、つながりが大事だとおっしゃっていましたが、それを聞きながら、つながっていなかったな、見かけたらご挨拶はするのだけれども、隣の家の方が電気つきっぱなしに気づいて、警察を呼んで、亡くなっていたというのが分かりました。それと同じことが1週間くらい前に、救急車や警察、消防が来るというのがあり、その結末は聞いてないのですが、何か事件がありました。その知っている20軒の中にも、3、4人、やっぱり独居の人がいます。それも高齢者で。だから、そういう人とつながる方法ってないのかなと最近そっちの方が気になっています。私がその班長をしたときに、その1人のお年寄りの女性の方が自治会を抜けられました。最近、新しい、若い人が自治会に入らないということがたくさんあると聞いています。それで、お年寄りばかりの自治会になってしまっていて、私もその自治会の関わる方のメリット、デメリットを調べてみたら、ほとんどデメリットはないです。メリットの方は、市の情報が入ってくるとか、つながりがあるとか、そういうぐらいで、入らない人のメリットとして、役は回ってこない、お金がかからない。じゃあ、私も入らないでもいいかなって、ふっと思ってしまうのですよね。自治会っていうのは任意ですので、入らなくてもいいものです。みんなが当然入るものだと思っていたので、入らない人がいるってことが、つながれないということにつながって、同じ町内であったことですが、これからそういう独居老人が孤独死することが起こりうるのかなと思ったら、少し不安に思っています。子どもの居場所が大事ですけど、お年寄りの居場所が作らないといけないのかな。これは想像ですが、今、暑い夏にエアコンをつけていないお年寄りがいまして、市役所とかイオンとかで、クーラーありますよって言いますが、そこまで行く手立てがないと思うのです。だから、近くにある自治会館とか公民館とか、もっと活用できる方法がないのかなと思います。ここはいつも空いていますよ、埋まっていますよっていう、こういうようにできたらいいのになと思っていますのですが、何か良い方法ありませんでしょうか。

○西浦副局長

文化芸術振興課の西浦でございます。

社会教育全般やっていますので、まずは居場所づくりの方ですが、実際のところ、行政全体の動きとして、橿原市のキャッチフレーズの、子ども子育て教育という部分にシフトをするような流れに、今、少しなっております。その前は、高齢者さん、高齢者さんと言っていたのに、トーンダウンしているというのが実際だと思います。しかしながら、その前の時期に、いろいろな施しを、社会福祉協議会、あとは福祉総務課、介護の課もありますが、そこでちょうど、かしはら街の介護相談室であるとか、ふれあいサロンなど、そういう地区に市の職員なり、社会福祉協議会の職員が出て行って、いろんなイベントをして、少しでも心の潤いを得てもらうようなことは、やっているのですけれども、なかなかそこに出て来ない人が多いというのが一番の課題で、今おっしゃったように、ブロックが異なると、全然知らない人ばかりいうようなところで、今スマホで1日遊んでいられる時代になってしまったので、他の人と絡まないでも十分楽しい生活ができるというような価値観の時代になってしまいましたけれども、地域のつながり作りというのは社会教育全体の大きな課題です。大学の先生方にも、何とかしなさいというように言われるのですが、そのあたり地域学級であるとか、うちの課の事業としたら、そういうつながり作りとか、何とかこう周知してやっていけたら、モバイル使ったりとかパソコン上で会話をしたりとか、そういうのもできたらやっていくようにとも言われているので、模索していきたいと思っております。

○末次委員

テレビで子ども食堂に年寄りが来ていたりというのを見ますが、そういう方法が手っ取り早いと思うのですけれども、それを広める方法が、私も子ども食堂に興味を持っていて考えているのですけれども、一人ではとてもできないし、巻き込まないとできないですし、その方法がわからないのです。

○西浦副局長

方法というのが、一番難しく、行政の職員はホームページに出しているとか、広報に載せますと簡単に言いますが、なかなかそこまでたどり着かない方も非常に多いというところで、つながりもないので口コミもできないというところで、本当に分断されています。それで、どのように知らせるかっていうのが、非常に我々も苦勞しています。もし他の委員の中で、逆にこうしたら良いとか、またご意見いただけたらと思っています。行政では、ホームページ、広報、掲示、それから宅配の弁当屋さんにも声かけに行ってもらうなど取り組みとしてやってくれたらということもあります。他にご意見いただけたらと思いますが、いかがでしょうか。

○吉岡議長

末次さんおっしゃったように実は子ども、年寄り居場所がない。実は、大人も居場所がないのです。誰も居場所を持ってないのです。そういう意味では、行政が積極的に、例えば公民館とかの活用、いつも言うのですが、公民館を一元化して行って、地区公民館を中央公民館でコントロールができて、市民がどこへ行っても、どこの公民館でもその地区の人間じゃなくて、公民館って市のものですから、その地区のものではないので、全員が使える方法、どこか空いているところに集まれる方法を考える。

もう一つは、やはり交通アクセスの問題で、これは今後もどんどん問題になってくると思います。学校が閉校されたりすると。やっぱり市内を循環する公共交通、コミュニティバスとか、ある程度、お年寄りでも自由に動ける環境がないとこれはなかなか解決しない。今おっしゃったことは全ての社会教育の範疇の問題点で、今コミュニティっていうのは本当に崩壊しているということではなくて、コミュニティが世界中に広がって、網の目が大きくなって、誰とでも繋がることは繋がっているけれども、なかなかそこへ参加していくことが難しい。昔みたいに小さなコミュニティの復活案は、絶対不可能だと思いますので、改めてそういう形のものを考えておくしかないのだろう。問題はそこから先で、そういうことをしようと思うと、お金がかかる。そしたら、それを誰が出すのか。行政が出すのは、我々の負担になってくるわけですね。何らかの形でそういうものを、本当に考えなければいけない。ただ、橿原市の問題でいうと、例えば、かなり人口が偏在していて、去年、小学校が一つ統合されましたね。中学校も統合したい、小学校も統合したいと減らして行って、そこで出てくるのはまず通学環境の問題。そういうものが整備されれば、実は年寄りが動く方法も増えてくるわけですね。だから、近くの人じゃなくて、遠くの人とも繋がることも、我々は考えていけないと思います。方法はあるのだけど、それが可能かどうかというのがとても難しいなと思います。社会教育委員というのは、それを頑張っていることが、一つの仕事かと思っております。次に田宮委員お願いします。

○田宮委員

スポーツ協会の田宮です。私は社会教育というよりは体を動かす方がメインなので、この委員の中で、少し畑違いかと思っていて、いつもお話を聞くことが多いですが、スポーツ協会というのは、社会人が基本的に活動していますので、小中学生というのは、学校教育になります。だから、今の部活動移行についても委員で出ているのですが、正直な話ですけど、スポーツ協会にとっては、管轄外になります。社会体育ではないですが、ただそこに中学校の部活移行の話が出てきて、やっぱりスポーツですので、協会に関わってくれとのことでやるのですが、みんな仕事をやりながら、好きなスポーツをやっている。今の社会教育として、やっぱり自分の趣味で、みなさんとながっているのが、結局歳いっても生きがいにつながるとかね。私も後期高齢者になったのですが、まだ商売しており、毎日仕事をしているので、大阪の営業所に週に2日くらい行っているのですが、もともと、真菅出身で、生まれたとこ

は浪速区でして、浪速区の方にちょっと子どものころからの付き合いの人がいまして、この間、恵比寿さんの隣に氏神があって、そこで神輿があって、やっぱり子供がいてないけど、大阪の街のど真ん中のビジネス街でも神輿して、地元の横の繋がりをやろうとしているのですね。私は中町にいているのですが、そこはそこで子どもをあげて神輿をやるのですが、だんだん子供がいなくなって、引っ張る人がいないので大人が引っ張っていくという、少子化をこの目で見ています。スポーツ協会としてはどっちか言うと、チャンピオンスポーツをやっているよりはですね、今も軽スポーツの方が圧倒的に多いです。ソフトバレー、ターゲット・バードゴルフ、ペタンク、ボッチャ、グラウンドゴルフとか、いわゆるお年寄りがみんな集まって、健康を保ちながら、スポーツというよりは、ゲーム性で楽しむというのが、今のスポーツ協会の参加の団体でもメインになっていますね。それで、ゲートボールの人氣がなくなってきていまして、なぜかという、私もあんまり詳しくありませんが、やっぱり勝ち負けがきついのと、相手をやっつけにいくということがあって、もっとよく言うと、あんたが失敗したから負けたんやというのが、チームの中でよく出てくるから、嫌やと辞めていくことがあるようです。そうすると、みんなグラウンドゴルフとか、ターゲット・バードゴルフとかをして、その大会やると、500人とか集まります。バレーボールとかバスケットボールとかいうと、やっぱり専門的になるので、大会やってもチームで一桁しか集まらないと。テレビでは、ワールドカップとかで、少年のサッカーは人気ですけども、ジュニアスポーツなので、少年サッカー、少年野球っていうのは、どっちかというスポーツ協会は関係ないのですよね。自分の人生の楽しみでサークル活動をいかに増やしていけるか、元気でボケなくて、友達の付き合いがやっぱり続くかなと。そういう活動の中に公民館活動もあるのかなと思うのです。私も、今ちょっといろいろ案内見るのですが、公民館活動もいっぱいやられていると思うのですが、市民だよりに出ているのですかね。仕事していたら見ないので、やっぱり西浦さんが言うように知らないことが多いです。誰かが知っていて、声がかかって、友達がいたら、行こうかとなるのですが、こういう私も眺めるくらいですので、このへんでありがとうございます。

○吉岡議長

ありがとうございます。スポーツが、心のよりどころであって、そういうサークルがね、やっぱりどんどん、出てきていくということが大事だと。それがやっぱり友達で、私もサークルで、月に1回くらい集まって、ワイワイやっていますからね。そういうことが、それはやっぱり、我々が踏み出さないと、引っ込んだ人をいかに出してくるかというのが大事なので、居場所はないけども、本当はあるので、そこへどうやってきていただくか、ということだと思いますね。次に辻川委員お願いします。

○辻川委員

子育て研究所って書いてあるのですが、家族関係のこととかを向き合ってきている団体な

ので、先ほど末次委員が言っていたみたいに地域で居場所っていうところを考えています。まず、ご夫婦間の会話がないうちところ、会話する時間がない。お二人ともお仕事行っていて、家帰ってきたら、家のことをするので精一杯みたいな家庭であつたりとか、お互い大変だから声かけないでおこうと思っているのに、違うかって勝手に思って、それですれ違ってしまっているご家族っていうのがとても多くて、その間で子どもたちが気を使っているっていうことが、普通にどの家庭でも基本のベースの形なのかなと、今の家族を見せていただいていると思います。まず居場所の体感がない。居場所ってどういうところで、居たら居心地がいいっていう感覚がわからない方も多い気もしています。その中で、じゃあ居場所あるからおいでと広報しますが、効果はあんまりだなと思って、私たちは SNS でまず私たちが顔を出して、よかったら来てくださいっていうようにして、来ようかな、相談しようかなみたいな、実際に会うよりも、一方的に見て、この人大丈夫かなと思って、行けたら行くみたいな、仕組み作りをしようと思ってやっています。そうやって、今のお母さんたちが家にいるところで、誰と繋がろうかなと思った時には、SNS の使い方っていうのが一つ作戦としてできるのかなと思っていて、集客という感じでもないのですが、自分が会いたい人になっているかなとか、実際、自分が一歩出ていこうかなっていうことを、まず自分が動いていかないと、地域で居場所もできないのかなと思っています。あとは、家庭教育が今、手薄というか、PTA に参加されないご家族であつたりとか、なくなってきている地域もあるので、学校中心に親御さんたちとか、近所の方が繋がるきっかけっていうのも減っています。あと、奈良県も教育振興会が解散されて、PTA に講師派遣するようなことをされていた団体さんがなくなりまして、どんどんご家族がご家族を作っていくところについての学びをできる場所っていうのがなくなってきているので立ち上げている団体だったりします。今のうちからご夫婦でも話ができるようになっておいていただけないと、私もそうですが、夫との私の会話もどれだけ豊かなのかなと思ったら、そうでもないなと思っています。できるだけ若いうちにお母さんとお父さんが、喋れる関係性になっておいていただけたら、老後に別にご近所で付き合いがなかったとしても、ご夫婦で仲良くやっていけるのかなと思っています。それを増やしていきたいなと思って、間に入ったりとか、またその近所の方、お仕事もそれぞれお父さんもお母さんもされてきたら、近所付き合いというのがないまま、お仕事の関係性だけで、自分の地域以外の方とつながることが日常になっているので、いざ退職しました、地域に帰ってきましたとなったら、誰と「こんにちは」言おうかっていうのは思っています。だからそのしんどさとか、家を守ってきたとこっていう、おじいちゃんおばあちゃんっていうよりも、子どもたちが家守らなかんから、不登校も増えているみたいなケースも実はあつたりするので、実は全部リンクしていて、ご家族の問題っていうのは丁寧に見ていきたいなと思っています。自分も仕事しながらの NPO の運営だったりして休みなしで動いたりしているのですが、こうやって動いていて、皆さんと出会って、今の親御さんたちこんな状況ですみたいなこととかをお伝えできる場をいただけることが、自分のまず一歩かなというように思っています。いろんな方とまず自

分からつながっていききたいなと思います。ありがとうございます。

○吉岡議長

ありがとうございました。松下委員よろしくお願いします。

○松下委員

ボーイスカウトも少子高齢化の波にのまれており、橿原市では今 3 個団で活動しているという状況です。私が始めたころはもっと多かったのですが、ボーイスカウトというのは、皆さんにあまり見えにくいと思います。というのは、各団で、独自で行事予定を組んでやっています、奈良県連盟が号令かけてやる行事もあって、それは決められた場所の方へ行きますので、地域で活動しているボーイスカウトの姿を見ることは少ないと思います。私たちがやりだした頃は街の中にボーイスカウトであふれたくらいの時もあったのですが、だんだん事情が変わってきました、家庭を大事にするというか、そういう傾向があって、子どもをそういう活動をさせると家族全員で過ごすことができないと、嫌うご両親が多くなって、今、各団とも悩んでいるところです。橿原市の教育委員会様の依頼があった行事については、いろいろお手伝いさせていただいています。それと、私、普段は公民館フェスタ、今年は 10 月 31 日と 11 月 1 日に、公民館の中で、食べ物の提供をして、会場で手伝っている人の食事の足しにするなど、やらせてもらっています、なかなか、皆さんには見えにくいと思うのですが、地道に活動をやっております。ありがとうございます。

○吉岡議長

ありがとうございました。森田委員お願いします。

○森田委員

飛鳥・橿原ユネスコ協会を立ち上げたのが 2009 年で、私が社会教育課長をしたのが 2008 年で、4 月に着任して 5 月ぐらいに、日本ユネスコ協会連盟の事務局長をされていた、竹尾さんという方と県議会議員されていた藤本さんとか、奈良ユネスコ協会の宮辺さんというような方たちが市長のところへ来られて、飛鳥・藤原の宮都が暫定リストに登録されていて、世界遺産を目指すのであれば、この地域にユネスコ協会がなかったら、なかなか世界遺産というのは難しいよというようなことがあってユネスコ協会を立ち上げなさいという上からのトップダウンで話がスタートし、2009 年にユネスコ協会ができました。それから 17 年、ようやく先日世界遺産登録が決定されまして、ユネスコ協会としての大きな目標が達成されたことは、本当に嬉しい、感激した次第ですけども、世界遺産登録だけが目的でユネスコ協会というのはなかなか作りにくくて、本来ユネスコというのは世界平和を広めるということが団体の大きな目的なので、世界遺産登録になったから、ユネスコ協会解散しようかというような話にはできない。世界遺産登録された後、このユネスコ協会がどうい

活動をしていくのかというのが、今後の課題であると思います。飛鳥・藤原の地域が世界の宝物になったわけですから、ここに住む市民がそれをやっぱり誇りに思って、世界から訪れて来られる方たちに自分たちの地域がどんな地域なのかということを伝えていただけるような市民になっていただきたいというのが私の思いです。

先ほどの居場所の問題ですが、私、役所定年になって、仕事はそれ以降も続けていたのですが、定年を迎えてすぐにラジオ体操を曾我川緑地の公園の方で毎朝やられていました、そこに参加させていただいています。365日休まず、雨でもできる場所がありますので、元旦からも、やっております。その当時は参加者の中で一番若かったのですね。今、平均年齢が79歳になっているということで、私72ですけども、そのうちでは若い方です。90歳を超えておられる方もいらっしゃるって、そこは緑地体操の会という、大きな目標で介護の状態にならないために、毎朝ラジオ体操に来て、みんなと会話をして、体操で体を動かして帰る。それが健康の秘訣だということで、私もそのことにすごく賛同できたので、毎日参加しているんですけども、参加していたら、何か役をしてほしいって言われて、大きなことはできないけど、お手伝いやったらできますということで、曾我川緑地体操の会の役も持たせていただいております。ラジオ体操やったら、誰でも、参加するのは簡単ですし、市内、あちこちに、ラジオ体操の場所ってあります。特に藤原宮跡なんかでも、ラジオ体操やっておられますし、橿原神宮の森林遊園でもやられています。どこでも、自分の身近なところに行かれたら、朝6時半、NHKのラジオをかけて、みんなで体操するっていう、それだけですけども、すごく健康にはいいものだと思っておりますので、皆さんもどうぞよかったらご参加ください。先ほどの居場所の問題について、私は社会福祉協議会にもおって、ふれあいサロンとかの立ち上げもさせていただいたのですけれども、地域でいろんな、藤山勝巳のビデオを持って行って、それを見てもらったりして、皆に笑いを届けるとか、いろんな娯楽を届けて、やらせてもらっていたのですけれども、いくら声をかけても、出てこない人は出てこないのですね。そこが難しいところだと思います。以上です。

○吉岡議長

ありがとうございました。吉村委員よろしくお願いします。

○吉村委員

レクリエーション協会としては、発表会とか、いろいろさせていただいて、個々の団体の集まりですので、レクリエーション協会全体で何かをするっていうことがなかなかできないのですけれども、できるだけレクリエーション協会の方では、高齢の方に対応した状態での、民謡さんでしたら、レクリエーションダンスとか、フォークダンスとか、社交ダンスもさせていただいております。私個人としては、社会教育委員をさせていただいて、何をしたらいいのかが、まずわからなかった。いろんな公民館大会とか、なるべく参加させていただいて、自分には何ができるのかっていうのを一生懸命考えていくのですが、なかなかわからないっていう

のが実際です。わからないながらもボランティアとかなにかさせていただいたらと思って、地域でしたら晩成小学校の子どもサロンとかしているので手伝ってくれとか言われたりとか、高齢者のサロンとかでも何かあるときに、県の方の長寿介護センターでeスポーツボランティアのチームがありまして、サロンさんとかにゲーム機持って行って、説明させてもらって遊んでもらうということを手伝わせていただいております。県内いろいろなところから来てくれという要請がありまして、私は榎原市民ですので、榎原市の方から何か頼まれたらなるべく参加するようにさせていただいています。何ができるかということを探しているのですけれども、なかなか本当にそれが社会教育なのかどうかも分からなくて、この前もこのホールのところで、映画事業に行かしてもらっても、そうなんやっていうようなことしか自分には分からないっていうのが実際です。あとは先ほど、末次さんもおっしゃっていたように、一人で何かしようかと思っても、何をするには誰に言うたらいいのかとか、特に委員させていただいても、市に対してこんなことをしたいと言っても、大きすぎるのですよね。だから、小さいところから始めるっていうのはどうしたらいいのかっていうのを、まず教えてほしいです。あと、仕事の関係で、いろいろ体の調整とかさせていただいているのですけれども、子どもさんにしてもそうですけれども、ゲーム等、親御さんの見てないところで、布団に隠れてゲームしたりとかっていうような子どもが割と多いです。それで、最近はお子さんの頭痛いとか、肩こってしんどいとかの症状を見てくれとか、親御さんに言われるのですが、結局は姿勢の悪さにつながっていきます。また、中学生、高校生にしても、スポーツしている方で、どこそこが痛いから、ちょっと見てくれとか言って、結局、姿勢悪い状態でスポーツするから、悪いっていうところですね。そして、家庭でよく姿勢悪いから、もっと姿勢良くしなさいとかって言われるけども、姿勢良くしなさいって言うてる人がどうやって姿勢を良くするのが分かっていない。分かっていないのに姿勢良くしなさいっていうところがおかしいですね。高齢者にしても、お医者さんに歩かなあかんで言われ、歩けるような状態でなくても、歩くと言うのです。歩いたらあかんでと私が言うと、いや歩かなあかんで、ちょっと痛かったら、休憩するとまた痛なくなるから歩けますと言って、そんなことしていただいてもっと悪くなるというようなことがほとんど世の中にまかり通っている状態なので、自分自身でいろいろ思うところもありますので、今ちょうど県の長寿センターのほうで、そういうようなお話とか、ストレッチとかさせてもらえる機会ができたので、また今度一回させていただくのですが、あまりにも知識がなさすぎて、もうちょっと皆さん分かる方法がないのかなと思います。頭痛い、腰痛い、足痛い、それも誰も悪くないのですよ。自分が、そうやってきて、生活してきているから悪い。何が悪いかって言うたら、生活習慣が悪いです。その生活習慣っていうのは、一番最初に作ってるのは、子どもから言えば、親です。親が悪いから、子供が悪くなるのです。その親がよくしないで、子どもによくしろと言う。これもまた、おかしい話なので、そういうところも社会教育につながっていくのかわからないのですけれども、自分のできる範囲内のことはしたいと思うのですけれども、またもし何かお役に立てるようなことがあればおっしゃっていただいたら、いくらでも行かしていただ

きますのでよろしくお願いします。

○吉岡議長

ありがとうございます。しっかり、つながっていると思います。それでは、最後になりますが、山中副議長お願いいたします。

○山中副議長

大学で社会教育人材の養成ということをメインで授業をさせていただいています。私は 50 年近く、図書館にずっと関わってきて、図書館の中のことをずっとやっていたのですが、ここ 10 年弱ですが、外から見た図書館というのが、私の中の一つの課題です。図書館は、どのように社会の中でつながっていくのか、図書館自身がどう社会とつながるのか、図書館の人って自分は専門職だと思って、中で一生懸命やるわけです。私も目録というのがありますが、目録を 30 数年以上、学位も目録で取ったのですけれども、古典籍の方ですけれども、図書館というのは先ほどおっしゃっていた第三の居場所として実は入ってきておりますし、図書館自身が社会教育施設として、社会教育法の中でも位置付けられているということでもありますので、地域の中で、どうなっているのだろうということで、ここ数年行政の各施設というのが老朽化をしてきています。一方で、奈良県でも人口が減少しているにも関わらず、世帯数は増えているので、一人の方が増えているのだろうと思います。そうすると、先ほど言われたように、繋がりというのが、かなり希薄になってきている。ところで、じゃあ、居場所って何だろうって、皆さん方の話を聞かせていただいて、本当に日頃大学で話をしているときに、偉そうに言っていることが、現実としては、こういうことだなと。どちらかというと、うまくいっているところ、学生を据えていくところっていうのは、例えば公民館であったり、私は奈良市であったり、大和郡山市に行っているのですけれども、うまくいっているところと一緒に話を聞かせていただいているのですけれども、そうではないところ、橿原市がうまくいっていないということではないと思うし、公民館はどちらかというと特異な形、奈良はかなり特異な形の公民館ですので、どうやってつながりを作っていくのか、居場所づくりって居場所って何なのか、サードプレイスという本の中で、居場所っていうのはこういうことだと 11 項目くらいあって、やっていることが分かるのですが、そこに行くのか、先ほどおっしゃっていただいたように、声かけても来ないのですよね。何か仕掛けをしていかないといけない。それが、施設的な仕掛けであったり、コンテンツの仕掛けであったりということが出てくるのだろうと思います。どういう仕掛けをするのか、仕掛けをするのは多分、行政側の話になっていくだろうと思います。運用するのは、地域にいる人ですよ。行政が運用していくということ自体はこれから難しい話になってきます。いかに地域の人たちを巻き込んでいくか、というところはなんとなく最近をよく分かってきていて、そこでどういうふうな形で地域リーダーを作っていくなり、地域の人たちのコミュニティを捕まえていくかということが施設の運用の中で非常に重要なことだと思います。当然、行政

のサポートという意味で、最初は行政と一緒に地域の人たちが仕掛けを作っていく、コンテンツの仕掛けを作っていく、きっかけを作っていくということになっていくのだろうなということだと思います。いくつか成功事例と言われているところが、全国で少ないですけども、あるというように思いますが、先ほど言ったように橿原市の規模になっていくとちょっと難しいところもあります。それと地域が広いというところがあるので、特定の地域の人たちのためだけにそういう仕掛けを作っているのかというところが多少あるのかなという気がして、皆様方おっしゃっていたこと、非常に勉強になって、最後に姿勢の話でキュッとまりましたけれども、お話し聞いていて難しいなと思ってドキッとしたのは夫婦の問題ということで、ちょっとこれから夫婦観を考えていかなければいけないと思うのですが、社会教育委員として1年間やらせていただいたところであるのですけれども、我々というか私自身が、何かできないのかなというところは少し考えています。仕掛けづくりは一応、日常的にこういうことを考える立場でもありますので、何か他方面に、渡っておられるので全部というのは私無理ですけれども、何か仕掛けづくりやきっかけづくりというものについて、学生なんかと一緒に考えていきたい。学生もやっぱり成功事例を見るのですよね。成功事例と同じことをしても、絶対に成功しない。その地域の人たちがどういう風に考えているかということやサウンディングしながら拾い上げてきて、その地域の人たちが地域の課題の解決をしていくという仕掛けをどこかでつくっていくと少子化で行政に頼っていく時代ではこれからはないと思います。PTAの問題であったり、あるいは自治会の問題であったり、深刻な問題だろうと私も思います。ですから、そういったことも含めて、つながりづくり、それから健康、スポーツも含めて、学び続けるということを自分自身が考えていかなければ、全て自己責任の時代にこれからはなっていくだろうと、若者がそうだと思いますので、そういうことも含めて、学び続けるための社会教育、何を習うかというのがそれぞれ違っていると思います。ただ、幸せになりたい、豊かになりたいというのは皆一緒だと思うので、そういったことをどうやっていくかというのは小学校、中学校の時代から、きちんとやっていかなければいけないかなという気はしております。以上です。

○吉岡議長

予定したことは、終了しました。その他について、事務局から連絡からご説明をお願いいたします。

○小山補佐

令和8年度社会教育委員の今後の事業予定について、事務局よりご連絡させていただきます。資料5をご覧ください。まず、1段目です。10月2日に、第73回奈良県公民館大会及び第37回奈良県社会教育研究大会合同大会が県立教育研究所で開催されます。参加について、後ほどご説明いたします。2段目です。本市の第3回定例社会教育委員会会議を開催します。後ほど、日程を決めさせていただきます。3段目です。第68回全国社会教育研究大会

と令和 8 年度近畿地区社会教育研究会大会が合同大会として、大阪府で 10 月 28 日～30 日の 3 日間開催されます。参加について、後ほどご説明いたします。4 段目です。第 58 回奈良県社会教育学校が 12 月 18 日に開催される予定です。最後 5 段目です。令和 9 年 1 月下旬に第 4 回定例社会教育委員会議を開催させていただく予定です。いずれも今後の社会教育活動に役立ていただける研究会や研修です。詳細が分かり次第ご案内いたしますので、是非ご参加ください。それでは、第 73 回奈良県公民館大会及び第 37 回奈良県社会教育研究大会合同大会の開催要項をご覧ください。10 月 2 日（金）に奈良県教育研究所で開催されます。申し込みは当課でまとめて行いますので、出欠票をご記入のうえ、8 月 14 日（金）までにご提出ください。次に、事前に送付しております、第 68 回全国社会教育研究大会大阪大会、令和 8 年度 近畿地区社会教育研究大会（大阪大会）についての案内をご覧ください。添付の開催要項や、本日配布しましたカラー版のチラシをご確認いただき、8 月 14 日（金）までに参加・不参加をご回答ください。こちらも申し込みは、当課でまとめて行います。大会参加費は市で負担いたしますが、お弁当と情報交換会の会費は実費となりますので、お申込みされた場合は、請求書を後日郵送いたします。誠に恐縮ですが、予算の都合上、社会教育委員全員でのご参加が厳しい状況です。参加申し出の先着順に申し込みたいと思いますので、上限に達した場合は、ご容赦くださいますようお願いいたします。続きまして、西浦副局長よりお願いします。

○西浦副局長

今日は本当にありがとうございました。

初めての試みで、皆様方に一言ずついただいたら、盛りだくさんになりまして、本当に内容の充実した会になったと思います。本当にありがとうございます。実はこの後で、各課の方から、夏休み及び秋口の行事の PR 合戦をしようというように計画をしていたのですが、残念ながらちょっと時間がございませんので、資料を皆様方に、机上に置かせていただいておりますので、いろんな特に子どもさん向けの行事、万葉ホールの方でもそうですし、外に出て行って、特に橿文フェスといって、県立橿原文化会館で、昆虫館とかがコラボしてその館でやらせてもらうというようなイベントとかもございます。そのあたり、ぜひ足を運んでいただいて、先ほどのお話にもありましたが、各団体さんの役員の方が今日来ていただいていると思いますので、情報を得てもらったものを各団体さんにまずは発信をしていただきたい。ぜひそのあたりよろしく願いしたいと思います。ぜひまず委員さんに足を運んでいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。今後のこの会議の運び方についても、模索をしております。まず今日、この会議を経て思いついたのは、今日たまたま居場所というキーワードと世界遺産というキーワード、この 2 つで、皆様方いろいろとお意見をご披露いただきました。今後、会議が近づく前に季節柄というか、うちの方で何かキーワードを作らせてもらって、それについて喋っていただきますよというような予告をして、そこで発言していただくような組み立てにしてもよいかなと思っていますけれどもいかがでしょうか。

勝手な意見ですが、いいですか。それと山中先生ご提案いただいた、学生さんを組み入れて、この会議を活用していくというか、この会議を経て学生さんの活動にもつなげていくというようなことも、今後ちょっと話し合い、今ちょっと確定はこれできませんけれども、そのようなことも踏まえて、今後やっていけたらなと思っていますけれども、山中先生よろしいですか。また話し合いで、そのあたりはさせていただきたいと思います。長くなりましたが、私からは以上です。よろしくお願いします。

○小山補佐

続きまして、次回開催日についてご協議いただきたいのですが、10月26日(月)、27日(火)のいずれかで、時間は午後1時15分からお願いしたいのですが、いかがでしょうか。開催場所は、今井まちなみ交流センター「華薔」の講堂を予定しています。では、いずれかの日程で調整したいと思います。今お伝えした日程で、ご都合が悪い日を挙手していただければ幸いです。10月26日(月) ご都合が悪い方いらっしゃいますか。27日(火) ご都合が悪い方いらっしゃいますか。3人いらっしゃいますね。

○吉岡議長

それでは、10月26日(月)に決定させていただきます。

○小山補佐

ありがとうございます。繰り返しになります。開催場所の方は、今井まちなみ交流センター花薔でございます。会議開催前に、今井町の見学を行いたいと思っております。お時間のご都合がつくようでしたら、ぜひご参加いただきたいと思いますと思っております。午後1時15分に、今井まちなみ交流センター花薔前にご集合いただけますようお願い申し上げます。その日は、その時間は今井まちなみ保存整備事務所長の中川の方がご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。その後、第3回の社会教育委員会会議は15時からの開始を予定しております。よろしくお願いいたします。本日は本当に長時間にわたり、ご指摘いただき、本当にありがとうございました。これで会議を終了させていただきます。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。

会議録確認者

上田琢也

会議録確認者

吉村仁志